

◆原始

江戸川流域に  
米作文化が花ひらく

村の歴史は古く、原始時代までさかのぼることができます。桑名邸遺跡からは数々の土器や土偶が発見され、当時の暮らしをありありと伝えていきます。江戸川（現・釈迦堂川）は今と変わらずその流域を潤し、下松本の「関根向遺跡」からは小動物狩猟用の「落とし穴」ではないかという土坑が見つかっています。弥生時代の様子をうかがう手がかりは今のところ白子の「岡谷地遺跡」しかありませんが、早い時期から米作文化が栄えていたようです。農耕文化の発達は岩瀬郡にも新しい時代の風を呼び込んだのです。

◆古代

岩瀬郡最大級の「龍ヶ塚古墳」

村役場からほど近く、白子地区を歩くと田圃に緑の小島が浮かんでいるのを見ることが出来ます。それが村の古墳時代を代表する「龍ヶ塚古墳」です。全長48.5m、前方部分は西に広がり、その幅は36.5m、後円部分の直径は24mで、岩瀬郡内最大級の規模です。近辺には奈良、平安のものと思われる「国造遺跡」や「志古山遺跡」などもある村の歴史スポットです。特に「志古山遺跡」から出土した「丈部龍麻呂私印」（銅製・昭和62年3月福島県重要文化財指定）は、福島県に現存する唯一の古印として高い注目を集めました。



# 天栄村 歴史探訪

はるか昔から人々の営みを育んだ母なる釈迦堂川、  
当時の面影を色濃く残す街道、  
今はゆたかな森として四季を伝える城跡…。  
天栄村にはたくさんの歴史浪漫がそつと眠っています。